

伊藤病院 看護職員の負担軽減計画

令和2年4月～令和3年3月

分野	現状・問題点	目標	計画	達成度チェック		備考
				R2年4月	R3年3月	
看護部	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務環境の整備が不十分</li> <li>ベテラン職員の退職</li> <li>人材確保が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務環境の整備を継続して行う</li> <li>看護補助者との業務分担の推進</li> <li>離職の防止、人材確保 退職予定による欠員補充と強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>超過勤務を行わない業務配分 業務配分を継続。係、委員会業務が適切に行えるよう調整</li> <li>有給休暇取得を進める 年間5日間以上の取得を目指し勤務計画を立てる</li> <li>短時間正規雇用職員の活用 時短勤務者と常勤者の調整を推進し継続する</li> <li>看護補助者との業務分担を検討、推進を継続する 業務内容の検討。入浴、食事介助、移送、他を安全に行う CSセットの準備と補充。オムツなど身の回り品の確認</li> <li>夜勤専従勤務者の確保を継続する：常時2名</li> <li>定年後の嘱託職員の増加に伴い常勤看護師の確保</li> </ul>	△		
看護業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間内に指示受けが完了しない</li> <li>診療補助の事務的業務</li> <li>退院調整が不十分 前日、当日に退院決定することもあり準備間に合わないことがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子カルテシステムの活用を継続</li> <li>診療情報管理士による診療補助業務の分担</li> <li>退院予定者の把握 退院可能となった場合は早めに連絡をもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予め注射や内服など指示切れの情報を医師へ提供する 土曜日の指示受けが必要最小となるよう調整を継続 定期処方切れが日曜、月曜にならないよう調整する</li> <li>診療情報管理士による電子カルテ入力の継続</li> <li>退院予定者を把握し必要書類の作成や関連施設との連携をスムーズにする</li> </ul>	△		
薬剤管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>中止、休薬などの再調剤</li> <li>注射薬の準備が煩雑</li> <li>持参薬の内容が把握し難い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中止、休薬などを薬剤科で再調剤する</li> <li>翌日分の注射薬を個人別にわかりやすくする</li> <li>持参薬管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中止、休薬などを薬剤科で再調剤する 必要な場合は別包するなど協力を依頼</li> <li>電子カルテの機能により個人名・実施日ラベルを貼付する</li> <li>全ての持参薬の薬剤鑑別を依頼し鑑別書を受ける 残薬チェックの薬剤部へ依頼を検討する</li> </ul>	○		
栄養部	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養管理の実施</li> <li>嗜好調査の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病棟訪問にて患者の情報を共有する</li> <li>個別的栄養指導による患者教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事に関する嗜好調査の継続、患者満足度の向上 咀嚼、嚥下能力に応じた食事形態への変更を速やかに行う</li> <li>栄養相談、指導の実施を継続する</li> </ul>	○		
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ADL低下、要介助状態の患者の増加</li> <li>摂食嚥下機能の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動性向上</li> <li>介護量軽減</li> <li>入院によるADLの低下を防ぐ</li> <li>活動性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能低下を防ぐ継続的リハビリの実施</li> <li>実用性の高いリハビリの実施を継続し情報共有を推進 リハビリカンファレンスへの参加</li> <li>摂食嚥下機能の低下をできるだけ防ぐ ポジショニング、適切な食器や箸スプーンの選択などを協同して行う。食事形態の検討。</li> </ul>	△		